更新：20211224

戸谷成雄　CV

1947年 長野県生まれ
埼玉県在住

個展

2022	「視線体：散から連 連から積」シュウゴアーツ（東京）
2021	「戸谷成雄　森―湖：再生と記憶」市原湖畔美術館（千葉）
	「視線体 - 連」ケンジタキギャラリー(愛知)
2019	「視線体」シュウゴアーツ（東京）
2018	「戸谷成雄 新作展　直方体の三等分・四等分」ケンジタキギャラリー（愛知）
2017	「戸谷成雄―現れる彫刻」武蔵野美術大学 美術館・図書館（東京）
2016-17	「森X」シュウゴアーツ（東京）
2016	「レリーフ的」スペース 23℃（東京）
	「断層体」ケンジタキギャラリー（愛知）
2015	「中原悌二郎賞受賞展」中原悌二郎記念旭川彫刻美術館ステーションギャラリー（旭川）
2014	「ミニマルバロック VIII―漢詩的」ケンジタキギャラリー（愛知）
2012	「戸谷成雄 新作展 ―連句的 IV」ケンジタキギャラリー（愛知）
2011-12	「洞穴の記憶」 ヴァンジ彫刻庭園美術館（静岡）
2010	「ミニマルバロック VII」 ケンジタキギャラリー（愛知）
	「戸谷成雄展-橋本平八と北園克衛展関連企画」 三重県立美術館（三重）
	「ミニマルバロックVI」 シュウゴアーツ（東京）
2009	「ミニマルバロック V」 ケンジタキギャラリー（愛知）
2008	「ミニマルバロックIII」 シュウゴアーツ（東京）
2007	「ミニマルバロック II」 ケンジタキギャラリー（愛知）
2006	「戸谷成雄 ～大きな森～展」 宮崎県立美術館（宮崎）
	「ミニマルバロック」 シュウゴアーツ（東京）
2005	「戸谷成雄 新作展 森化」 ケンジタキギャラリー（愛知）
2004	「射影体」 シュウゴアーツ（東京）
2003	「戸谷成雄森の襞の行方」 愛知県美術館（愛知）
	「森化」 ケンジタキギャラリー（愛知）
2002	「戸谷成雄新作展」 ケンジタキギャラリー（愛知）
	「連句的―発句としての70年代戸谷成雄展」 入善町下山芸術の森発電所美術館（富山）
2001	「戸谷成雄 - さまよう森」 国際芸術センター青森（青森）
	「戸谷成雄新作彫刻展」 ライスギャラリーby G2（東京）
2000	「戸谷成雄新作展」 ケンジタキギャラリー（愛知）
1999	「戸谷成雄新作展」 ケンジタキギャラリー（愛知）

1998　「＜境界＞から V」 ケンジタキギャラリー（愛知）
「＜境界＞からVI」 佐谷画廊（東京）
1996　「連句的 II」 ケンジタキギャラリー（愛知）
「＜境界＞から III」 佐谷画廊（東京）
「<境界>から IV」 天画廊（福岡）
1995　「視線の森」 広島市現代美術館（広島）
「連句的 I」 ケンジタキギャラリー（愛知）
「平櫛田中賞記念展」 井原市立田中美術館（岡山）
1994　「＜山 - 森 - 村＞戸谷成雄」 町立久万美術館（愛媛）
「見られる扉 II」 ケンジタキギャラリー（愛知）
「<境界>からI：個体・家・皮膚」 佐谷画廊（東京）
佐谷周吾美術室（東京）
1993　佐谷画廊（東京）
テンポラリースペース #027（札幌）
1992　「村から」 芦屋市立美術博物館（兵庫）
佐谷画廊（東京）
「見られる扉 I」 佐谷周吾美術室（東京）
かわさきIBM市民文化ギャラリー（川崎）
「分立するトリニティー」 ギャラリー白（大阪）
天画廊（福岡）
1991　トーマス・ソロモン・ガレージ（ロサンゼルス、アメリカ）
1990　創庫美術館・点（新潟）
佐谷画廊 （東京）
1989　「第 1 回朝倉文夫賞」 上野松坂屋（東京）
佐谷画廊（東京）
コンセプトスペース （渋川），コンセプトスペースＲ２（高崎）
1988　「湿地帯」 天画廊（福岡）
1987　「戸谷成雄展 1984-1987」 佐谷画廊（東京）
1986　フー･ギャラリー（ソウル、韓国）
藍画廊（東京）
ＮＥＷＺ（東京）
1985　藍画廊（東京）
1984　「地下の部屋」 ＮＥＷＺ（東京）
「地下の部屋」 藍画廊（東京）
1983　藍画廊（東京・2 回）
ときわ画廊（東京）
天画廊（福岡）
鎌倉画廊（東京）
1982　「《構成》から」 藍画廊（東京）

「重ねる」神戸現代美術ギャラリー（神戸）
「NEW COPE WRITING PART Ⅳ」 ギャラリーＮＡＦ（愛知）
1981 「《構成》から」 ときわ画廊（東京）
1980 「《彫る》から」 ときわ画廊（東京）
「《構成》から」 藍画廊（東京）
1979 「《彫る》から」 ときわ画廊（東京）
楡の木画廊（東京）
「＜彫刻＞」 ギャラリーＬ（豊橋）
1978 「露呈する＜彫刻＞Ⅳ」 楡の木画廊（東京）
「仮設の＜彫刻＞」 楡の木画廊（東京･2回）
「仮設の＜彫刻＞」 真木画廊（東京）
1977 「露呈する＜彫刻＞」 ギャラリーＵ（愛知）
「露呈する＜彫刻＞」 楡の木画廊（東京）
1976 田村画廊（東京）
「露呈する＜彫刻＞」 ギャラリーＵ（愛知）
1975 「借用書Ⅱ」 ときわ画廊 （東京）
1974 「POMEPII・・79」 ときわ画廊（東京）

グループ展
2021 「オムニスカルプチャーズ—彫刻となる場所」武蔵野美術大学美術館（東京）
「シンビズム 4 信州ミュージアム・ネットワークが生んだ作家たち」上田市立美術館（長野）
2020 「Public Device -彫刻の象徴性と恒久性」東京藝術大学大学美術館 陳列館（東京）
「市制施行 70 周年記念事業 ところざわ アートの潮流」所沢市民文化センター ミューズ（埼玉）
「芦屋の時間 大コレクション展」芦屋市立美術博物館（兵庫）
「ドローイングの可能性」東京都現代美術館（東京）
2019-20 「コレクションハイライト 2 1945 年以降の現代美術」福岡市美術館（福岡）
2019 「空間に線を引く ― 彫刻とデッサン展」平塚市美術館（神奈川）（足利市美術館、碧南市藤井達吉現代美術館、町立久万美術館へ巡回）
「新たなる木彫表現を求めて －平櫛田中賞受賞の作家たち－」名古屋市美術館（愛知）
「愛知県美術館リニューアル・オープン記念 全館コレクション企画 アイチアートクロニクル 1919-2019」愛知県美術館（愛知）
「縄文シャワー展示室展Ⅲ」丘の上 APT / 兒嶋画廊（東京）
2018-19 「起点としての 80 年代」金沢 21 世紀美術館（石川）（高松市美術館、静岡市美術館へ巡回）
2018 「久万美 いま 30th：第 2 部 久万コレクション」町立久万美術館（愛媛）
「アート遊覧紀行—自然と人間をめぐって—」群馬県立館林美術館（群馬）
「初代館長針生一郎 没後 7 周年記念 金津創作の森 館蔵品展」金津創作の森 アートコアミュージアム-1・ギャラリー（福井）

「海外姉妹都市作品交流展 This Side of Paradise 楽園のこちら側」安養美術館（韓国）
「アートを発信する―原美術館発国際巡回展の軌跡」ハラミュージアムアーク現代美術ギャラリー（群馬）
「ウェザーリポート　風景からアースワーク、そしてネオ・コスモグラフィア」
栃木県立美術館（栃木）
「シュウゴアーツショー」シュウゴアーツ（東京）

2017-18　「開館三十五周年記念 プレミアム・コレクション」北海道立旭川美術館（北海道）

2017　「彫刻を作る/語る/見る/聞く」東京国立近代美術館（東京）
「シュウゴアーツショー　1980 年代から 2010 年代まで」シュウゴアーツ（東京）
「開館 15 周年記念展　生命の樹」ヴァンジ彫刻庭園美術館（静岡）

2016　「学芸員を展示する」 栃木県立美術館（栃木）
「思い出の中の揺らめき－J コレクション」 名古屋市美術館（愛知）
「新収蔵品展」 豊橋美術博物館（愛知）
「つかまえる風・水・森をめぐるイメージ」 北海道立旭川美術館（北海道）
「生への言祝ぎ」 大分県立美術館（大分）
「蜘蛛の糸」 豊田市美術館（愛知）
「神話の森 美と神々の世界」 世田谷美術館（東京）
「芸術は森から始まる」 愛知県立芸術大学資料展示館（愛知）

2015　「豊穣なるもの―現代美術 in 豊川」 豊川市桜ケ丘ミュージアム（愛知）
「越後妻有アートトリエンナーレ〈4人展：素材と手〉」 清津倉庫美術館（新潟）
「毎週末の画廊、三宿SUNDAYの隣」シュウゴアーツ・ウィークエンドギャラリー（東京）
「アートフェア東京2015特別企画〈もの派〉から辿る20世紀」東京国際フォーラム（東京）
「シュウゴアーツショー」シュウゴアーツ（東京）
「引込線2015」 旧所沢市第二学校給食センター（埼玉）
「第13回アートプログラム青梅2015」 旧稲葉家住宅（東京）
「神々の黄昏」 大分県立美術館（大分）

2014-15　「開館20周年記念MOTコレクション特別企画 コンタクツ」 東京都現代美術館（東京）

2014　「アートプログラム青梅2014―まなざしを織る」 BOX KI-O-KU（東京）
「福島ビエンナーレ2014〈気〉」　喜多方市美術館（福島）
「1974年―戦後日本美術の転換点」　群馬県立近代美術館（群馬）
「村岡三郎へのオマージュ」　ギャラリー16（京都）
「Selected Works 村岡三郎を憶う―彫刻を中心に」ケンジタキギャラリー（愛知）

2013-14　「アイチのチカラ！」　愛知県美術館（愛知）

2013　「一木一草に神をみる　自然と美術」　島根県立石見美術館（島根）
「福岡現代美術クロニクル 1970-2000」　福岡市美術館（福岡）
「ミニマル／ポストミニマル　1970年代以降の絵画と彫刻」　宇都宮美術館（栃木）
「Re: Quest―1970年代以降の日本現代美術」 ソウル大学美術館（ソウル、韓国）
「ET IN ARCADIA EGO 墓は語るか ―彫刻と呼ばれる、隠された場所」
武蔵野美術大学美術館（東京）
「コレクション2　戦後の彫刻　素材という観点から」 国立国際美術館（大阪）
「戸谷成雄出品：引込線 2013」 旧所沢市立第2学校給食センター（埼玉）
「アートプログラム青梅2013　雲をつかむ作品たち」 青梅市美術館（東京）
2012　「記録する視線 陳界仁/ 藤本由紀夫/ 田口和奈/ 戸谷成雄」シュウゴアーツ（東京）
「キエフビエンナーレ：Arsenale 2012 The First Kyiv International Biennial of
Contemporary Art」Mystetskyi Arsenal（キエフ、ウクライナ）
「愛知の美術六十年展」　安城市市民ギャラリー（愛知）
「Study 10 – drawing」　渋谷画廊（東京）
「存在を超えて アートプログラム青梅 2012」 SAKURA FACTORY（東京）
「連句的　IV」　ケンジタキ・ギャラリー（愛知）
2011　「宇・宙 - 原美術館コレクション展」 ハラミュージアムアーク（群馬）
「近代日本の美術」　国立近代美術館（東京）
「ヨコハマトリエンナーレ2011 –OUR MAGIC HOUR」　横浜美術館（神奈川）
「抱きしめたい！―　近代日本の木彫展」　高岡市美術館（富山）/ 碧南市藤井達吉
現代美術館（愛知）/ 広島県立美術館（広島）
「ふたつの太陽」シュウゴアーツ（東京）（イケムラレイコ企画）
「所沢ビエンナーレ美術展：引込線」 所沢市生涯学習推進センター、
旧所沢市立第2学校給食センター（埼玉）
2010　「現代木彫の潮流」 北海道立近代美術館（北海道）
「ひろがるアート - 現代美術入門篇」 三重県立美術館（三重）
「アートプログラム青梅 2010 8th 循環の体」 青梅市内（東京）
「鉄斎から現代まで」 碧南市藤井達吉現代美術館（愛知）
2009　「シュウゴアーツギャラリーショー」 シュウゴアーツ（東京）
「どろどろ、どろん異界をめぐるアジアの現代美術」 広島市現代美術館（広島）
「第一回所沢ビエンナーレ：引込線」 西武鉄道旧所沢車両工場（埼玉）
「自宅から美術館へ田中恒子コレクション展」 和歌山県立近代美術館（和歌山）
「ドローイング－思考する手のちから－」 武蔵野美術大学 2 号館 gFAL（東京）
「アートプログラム青梅2009 7th 空間の身振り」 青梅市内（東京）
2008　「第 7 回まつしろ現代美術フェスティバル」 松代藩文武学校（長野）
「所沢ビエンナーレ・プレ美術展：引込線」 西武鉄道旧所沢車両工場（埼玉）
「TAMA VIVANT II 2008 イメージの種子美術が発芽するとき」
多摩美術大学（東京）、みなとみらい駅地下 3 階コンコース（横浜）
「福島現代美術ビエンナーレ YAMA～山、森、精霊、堆積、炭鉱～」 福島県文化センター、福島市街地（福島）
2007　「20 世紀美術探検 - アーティストたちの三つの冒険物語 -」 国立新美術館（東京）
「ＮＨＫハート展」 日本橋三越他巡回（東京他）

「森のなかで」 田辺市立美術館、熊野古道なかへち美術館、和歌山近代美術館（和歌山）
「アートプログラム青梅 2007 出会いのよりしろ」 青梅市内（東京）
2006 「縄文と現代：二つの時代をつなぐ「かたち」と「こころ」」 青森県立美術館（青森）
「緑化する感性 - 街道を読む -」 アートプログラム青梅（青梅）
2005 「SPACE WALKING」 入善町下山芸術の森発電所美術館（富山）
「森のくにの物語戸谷成雄「もうひとつの森へ」 長野県信濃美術館（長野）
「建畠朔弥・戸谷成雄・土屋公雄」 ギャルリ・プス（東京）
「第 20 回平行芸術展 崩落の記譜法」 小原流会館（東京）
2004 「円空大賞展」 岐阜県美術館（岐阜）
「木でつくる美術」 群馬県立館林美術館（群馬）
2003 「駒美展」 駒ヶ根高原美術館（長野）
「シュウゴアーツ開廊記念展」 シュウゴアーツ（東京）
2002 「タカシマヤ美術賞展」 日本橋高島屋（東京）他巡回
「未完の世紀：20 世紀美術がのこすもの」 国立近代美術館（東京）
「ポータブル劇場 BOX ART 展」 高知県立美術館（高知）
「TAMA VIVANT 2002」 多摩美術大学ギャラリー（東京）
「エモーショナル・サイト」 佐賀町・食糧ビルディング（東京）
2001 「ギャラリーズ･デビュー」 ライスギャラリー by G2（東京）
「ヘルシンキ･テーレ湾プロジェクトに参加した 8 人の作家たち」
現代彫刻センター （東京）
「生きろ」 クレラー・ミューラー美術館（オランダ）
2000 「戸谷成雄 / 遠藤利克」 島根県美術館（島根）
「クロージング・ショー」 佐谷画廊（東京）
「人間＋空間」 第3回光州ビエンナーレメインホール・アジア・セクション（光州、韓国）
「韓国と日本の現代美術の断面第 3 回光州ビエンナーレ」 光州市立美術館（光州、韓国）
「牆（壁）」 台湾国立歴史博物館（台北）
「テーレ湾地区日フィン共同環境芸術制作、合同ワークショップ」（ヘルシンキ, フィンランド）
「樹霊3人展構造・振動・記憶戸谷成雄、遠藤利克、土屋公雄」 金津創作の森（福井）
「戸谷成雄 新作展」 ケンジタキギャラリー（愛知）
「日本美術の 20 世紀」 東京都現代美術館（東京）
1999 「戸谷成雄 新作展」 ケンジタキギャラリー（愛知）
「メディテーション－真昼の瞑想」 栃木県立美術館（宇都宮）
「アート・ドキュメント'99－アジアの森から」 金津創作の森（福井）
洋画商協同組合・JADA展（東京）
「開館30周年記念展：森に生きるかたち」 彫刻の森美術館（箱根, 神奈川）
「アジアの森から」 金津創作の森（福井）
1998 「人、自然、そして祈り in Japan」 長野県信濃美術館（長野）
「ネイチャー、ネイチャー：原美術館コレクション」 ハラミュージアム・アーク

（群馬）
「6人の作家による新作展：戸谷成雄、遠藤利克、村岡三郎、渡辺英司、杉戸洋、ヘルベルト・ハマック」 ケンジタキギャラリー（愛知）
「わくわく！どきどき！サマー・ミュージアム！！」 埼玉県立近代美術館（浦和）
「アート / 生態系－ 美術表現の『自然』と『制作』」 宇都宮美術館（宇都宮）
「コレクションによる物語る美術アンソロジー＜本、死、モード、ジェンダー＞」 栃木県立近代美術館（宇都宮）

1997 「モン・ド・マルサン・スカラプチャー・ジャパン」（フランス）
「韓・日・中現代美術展 - “接点”」 大邱廣域市文化芸術会館（大邱、韓国）
「近代日本の美術 - 100年の軌跡」 東京国立近代美術館（東京）
「WALL WORKS – 戸谷成雄・遠藤利克・村岡三郎」 ケンジタキギャラリー（愛知）
「日本現代美術展･青い水面展」 韓国国立近代美術館（ソウル、韓国）
「芸術と素朴」 世田谷美術館（東京）
「戦後文化の軌跡 1945－1995年」 目黒区立美術館（東京）
「第9回インド・トリエンナーレ」 ラリットカラアカデミー（ニューデリ、インド）

1996 「木の現代造形」 北海道立旭川美術館（旭川）
「美術の内がわ・外がわ」 板橋区立美術館（東京）
「美術を楽しむ時間 II 子どもの心で感じる美術展」 伊勢丹美術館（東京）

1995 「Invisible Nature 帰国展」 ケンジタキギャラリー（愛知）
「視線の森」 広島市現代美術館（広島）
「日本の現代美術：1985-1995」 東京都現代美術館（東京）
「環流：日韓現代美術交流展」 愛知県美術館、名古屋市美術館（愛知）
「戦後文化の軌跡：1945 -1995」 目黒区立美術館（東京）、広島市現代美術館（広島）、兵庫県立近代美術館（神戸）、福岡県立美術館（福岡）
「6. トリエンナーレ・クラインプラスティック 1995」 west LB forum（シュツットガルト，ドイツ）
「木の記憶・彫刻の記憶」 札幌芸術の森美術館（札幌）

1994 「所蔵作品展 1994 年度第一期 テーマ展示」 愛知県立美術館（愛知）
「死にいたる美術メメント・モリ」 栃木県立美術館（宇都宮）、町田市立国際版画美術館（東京）
「アジアの創造力」 広島市現代美術館（広島）
「3rd. 北九州ビエンナーレ Quintessence」 北九州市立美術館（北九州）
「立ちあがる境界」 辰野町郷土美術館（長野県）

1993 「眼差しの形象」 TEMPORARY SPACE（東京）
「00 コラボレーション：詩と美術」 佐賀町エギジビットスペース（東京）
「90 年代の日本－13 人のアーティストの提言」 ローマ市立フォルクローレ美術館（イタリア）、デュッセルドルフ市立美術館（ドイツ）
「戸谷成雄＋山崎博」 テンポラリースペース（札幌）
「インヴィジブルネイチャー」 プラハ城ロイヤルガーデン・ボールゲームホール（プラハ、チェコ）、ルドウィッヒ美術館（ブダペスト、ハンガリー）、ルドウィッヒフォーラム （アーヘン、ドイツ）

「第1回アジア・パシフィックトリエンナーレ」
クイーンズランド・アートギャラリー（オーストラリア）
「再制作と引用」 板橋区立美術館（東京）
「大分現代美術展 ’93－都市空間への提言・非常識」（大分市）
「日本現代彫刻の系譜－収蔵作品による」　富山県立近代美術館（富山）
「ark of ART 美術の方舟」 高知県立美術館（高知）
「＜かたまり彫刻＞とは何か」 小原流会館（東京）
「金曜日のまれびとたち、その 1」 なびす画廊（東京）

1992　「日本近現代木彫展 - 継承・そして新たなる地平」 岡山県立美術館（岡山）
「彫刻なるもの」 いわき市立美術館（福島）
「都市と現代美術 - 廃虚としてのわが家」 世田谷美術館（東京）
「TEMPVS VICTUM 生きられた 80 年代-MTM コレクションの 40 作家 40 作品」
エスパス小原（東京）
「愛知県文化センターモニュメントプロジェクト」（愛知）
「Topos, Ethnos 現代美術における文化のはざまをめぐって」 かわさきＩＢＭ
市民文化ギャラリー（神奈川）

1991　「1991・冬・MURAMATSU 新装記念パートⅡ」 村松画廊（東京）
「子供と現代美術シリーズ　箱の世界 do it yourself 展」 水戸芸術館現代美術
ギャラリー（茨城）
「今日の造形７ 現代美術＜日本の心＞展」 岐阜県美術館（岐阜）
「現代日本美術の動勢 - 立体造形展」 富山県立近代美術館（富山）
「構造と記憶 - 戸谷成雄・遠藤利克・剣持和夫」 東京都美術館（東京）
「トーマス・ソロモン・ガレージ（ロサンゼルス、アメリカ）
「第２７回今日の作家展史としての現在 - 8 人の作家と 1 人の批評家による展覧会」
横浜市民ギャラリー（神奈川）

1991-90　「ジャパン・アート・トゥデイ」 ストックホルム文化会館（スウェーデン）、
シャルロッテンボルグ展覧ホール（デンマーク）、
ヘルシンキ市立美術館（フィンランド）

1990　「現代彫刻の歩み III『1970 年代以降の表現－物質と空間の変容』」神奈川県立県民
ホール・ギャラリー（横浜）
「プライマル・スピリット：現代日本彫刻展」 ハラミュージアムアーク（渋川）、
ロサンゼルス・カウンティ美術館（ロサンゼルス、アメリカ），シカゴ現代美術館
（シカゴ、アメリカ），フォートワース近代美術館（テキサス、アメリカ），
オタワ国立美術館（オタワ、カナダ）
「作法の遊戯 - 90年春・美術の現在」 水戸芸術館（茨城）
「ナチュラル・オーダー」 ハドソンリヴァー美術館（ニューヨーク、アメリカ）
「Is ’90」 国際彫刻センター（ワシントン、アメリカ）
「シュトゥッキ2 ’90 ジャパン」（バーゼル、スイス）
「芸術が都市をひらく－フランスの芸術と都市計画」 茨城県つくば美術館（茨城）
「ドローイング　’90原画展」 京二画廊（東京）
「20世紀の彫刻」 ギャラリー・アカデミア（ザルツブルグ、ロシア）
「渋川現代彫刻トリエンナーレ ’90」 渋川市総合公園（群馬）

「第4回オーストラリア彫刻トリエンナーレ」 ヴィクトリア国立美術館
（メルボルン、オーストラリア）
「日本人作家7人展」 ハーバートパーマー・ギャラリー（ロサンゼルス、アメリカ）
「ミュージアムシティ天神」 スペースメディアＭＡ、イルパラッツォ（福岡）
「幻想の力 - 日本の近・現代美術から」 宮城県立美術館（宮城）
「現代木刻フェスティヴァル」 関市文化会館（岐阜）
「木のニューウェイヴ - イコンの森の思索者たち」 北海道立旭川美術館（旭川）
1989 「佐谷画廊コレクション展」 佐谷画廊（東京）
「表現としての70年代展」 藍画廊（東京）
「3 人展（アバカノビッチ、リー、戸谷)」 アーノルド・ハースタンギャラリー
（ニューヨーク、アメリカ）
「Paysages Verticaux」 野外彫刻展、ケベック美術館（カナダ）
「アート・エキサイティング ’89」 埼玉県立近代美術館（埼玉）
「ジャパニーズウェイズ ウェスタンミーンズ」 クイーンズランド美術館
（オーストラリア）
「’89 アートイヴェント IN 札幌 界川游行」 鬼窪邸（札幌）
「ビエンナーレ・ミデルハイム・ジャパン」 ミデルハイム野外彫刻美術館
（アントワープ、ベルギー）
「第25回今日の作家展かめ座のしるし」 横浜市民ギャラリー（横浜）
「モダン・マスターズ III」 ランケル・ヒュー・ウィリアムス Ltd.（ロンドン、
イギリス)、キャビック市立美術館（アイスランド)、セゾン現代美術館（長野）
1988 「第 3 回インターナショナル・シューボックス・スカルプチャー展」ハワイ大学
ギャラリー（アメリカ）
「第43回ヴェネツィアビエンナーレ」 ジャルディーニ公園日本館
（ヴェネツィア、イタリア）
「現代木刻フェスティバル」 関市文化会館（岐阜）
「ROSC ’88」（ダブリン，アイルランド）
「手で見る美術展」 西武有楽町アートフォーラム（東京）、つかしんホール（大阪）
ハワイ大学ギャラリー他巡回（アメリカ）
1987 「NEWZ BOX 展」 ＮＥＷＺ（東京）
「現代美術小品展」 ギャラリーマロニエ（京都）、ワコール銀座アートスペース
（東京）
「村松 ’87展」 村松画廊（東京）
「5 人のドローイング展『点・線・面』」 藍画廊（東京）
「藍画廊記念展」 藍画廊（東京）
「デッサン：予感の周辺」 なびす画廊（東京）
「もの派とポストもの派の展開 / 1969年以降の日本の美術」 西武美術館（東京）
「アーティスト･ネットワーク・エクスパンデッド1987」 福岡県立美術館（福岡）
「渋川現代彫刻トリエンナーレ ’87」 渋川市総合公園（渋川）
「小布施系」 小布施堂（長野）
1986 「第 1 回安曇現代彫刻展」 穂高町民会館（長野）
「モノローグ・ダイアローグ（戸谷成雄、前本彰子）」 なびす画廊（東京）

「発生機のデッサン」 なびす画廊（東京）
「藍画廊記念展」 藍画廊（東京）
「第6回試行する美術国際小さな芸術展」 山梨県立美術館（山梨）
「神奈川：芸術 - 平和への対話展」 大倉山記念館（横浜）
「開館五周年記念特別展 - 現代日本の美術3 戦後生まれの作家たち」 宮城県美術館（仙台）
1985 「現代彫刻の歩み」 神奈川県立県民ホールギャラリー（横浜）
「3 人展」 スーギャラリー（大邱，韓国）
「CONTINUUM ’85 PRE-EXHIBITION」 かわさきＩＢＭ市民文化ギャラリー（神奈川）
「CONTINUUM ’85」 ピナコテカギャラリー（メルボルン，オーストラリア）
「絵画と彫刻の新世代展」 佐谷画廊（東京）
「海へ - 答のカイロス」 淡路町画廊（東京）
「第5回試行する美術背後の解読展」 山梨県立美術館（山梨）
「戸谷成雄遠藤利克展」 ＮＥＷＺ（東京）
「寓意的空間展」 ギャラリー16（京都）
1984 「現代美術 5 人展’84」 かわさきＩＢＭ市民文化ギャラリー（神奈川）
「鮮烈なる断片」 ギャラリー葉（東京）
「ＮＥＷＺs：4人の批評家による8人の作家展」 ＮＥＷＺ（東京）
「第2回アジアビエンナーレ記念展」 福岡市美術館（福岡）
「第 4 回平行芸術展」 小原流会館（東京）
「多数多様態展」 梁画廊（京都）
「空間 - 遊展」 名古屋市博物館（愛知）
「中博昭＋戸谷成雄　響きと視覚の出会い」ＮＥＷＺ（東京）
「NEWZ WEEK」ＮＥＷＺ（東京）
1983 「現代日本：美術の展望」 富山県立近代美術館（富山）
「アジアビエンナーレ」 バングラデシュ国立美術館（ダッカ、バングラデッシュ）
1982 「遠藤利克・戸谷成雄展」 女子美画廊（東京）
「前田・戸谷・倉重三人展」 鎌倉画廊（東京）
「多摩美術大学芸術祭特別展」 多摩美術大学（東京）
1981 「Try･Angle ’81」 鎌倉画廊（東京）
「第1回平行芸術展」 小原流会館（東京）
「様・式」 神奈川県立県民ホールギャラリー（横浜）
「第2回ハラ・アニュアル」 原美術館（東京）
「藍画廊記念展」 藍画廊（東京）
1980 「艶姿華彩」 神奈川県立県民ホールギャラリー（横浜）
「机上の現場」 ルナミ画廊（東京）
1979 「第六感」 神奈川県立県民ホールギャラリー（横浜）
「Exhibition August ’79」 藍画廊（東京）、ギャラリー・ウェストベス（愛知）
「Exhibition 入射角・反射角」 埼玉会館（浦和）
1978 「’78 所沢野外美術展」 所沢航空記念公園（埼玉）
1977 「京都アンデパンダン展」 京都市美術館（京都）

「Four Days in URAWA」 埼玉会館（浦和）
1976 「展･錯視『さかだちのさかだちの』」 神奈川県立県民ホールギャラリー（横浜）
「EXHIBISM’76」 神奈川県立県民ホールギャラリー（横浜）
「資料化展」 神奈川県立県民ホールギャラリー（横浜）
1975 「’75 Fall with in NAGOYA」 愛知県文化会館美術館（愛知）
「京都アンデパンダン展」 京都市美術館（京都）
「朝日美術展’75」 名古屋丸栄（愛知）
「YOKOHAMA’75」 神奈川県立県民ホールギャラリー（横浜）

パフォーマンスなど
2004 アートドキュメント2004　錦帯橋プロジェクト（山口）
1997 グライスデール・フォレストミュージアムにおける野外プロジェクト（イギリス）
1995 グライスデール・フォレストミュージアムにおける野外プロジェクト（イギリス）
1989 ＡＭＡプロジェクト現地制作 サンタバルバラ美術館（イタリア）
1986 クラシック音楽と現代美術 ＮＥＷＺ（東京）
1985 ノルトハイム演劇祭「心中天網島」美術制作 ゲッティンゲン、ノルトハイム（ドイツ）
1984 響きと視覚展 ＮＥＷＺ（東京）
1983 イベント浜黒崎海岸（富山）
1976 イベント埼玉県所沢（埼玉）
1975 イベント愛知県長久手町（愛知）

受賞
2015 第 39 回中原悌二郎賞
2009 紫綬褒章
2004 平成15年度芸術選奨文部科学大臣賞 美術部門
2002 円空大賞、円空賞
2000 カンジュビエンナーレ アジア賞
1995 平櫛田中賞
1993 公益信託タカシマヤ文化基金第 3 回新鋭作家奨励賞
1990 長野市彫刻賞
1988 第1回朝倉文夫賞

パブリックコレクション
愛知県立芸術大学（愛知）
ヘス・コレクション（カリフォルニア，アメリカ）

埼玉県立近代美術館（埼玉）
ノイエ･ギャラリー・アーヘン（ドイツ）
サンタバルバラ美術館（イタリア）
台東区（東京）
石巻文化センター（宮城）
東京国立近代美術館（東京）
東京都現代美術館（東京）
長野市美和公園（長野）
和歌山県立近代美術館（和歌山）
愛知県芸術文化センター 愛知県図書館（愛知）
愛知県芸術文化センター 愛知県美術館（愛知）
北海道立旭川美術館（北海道）
いわき市立美術館（福島）
原美術館 （東京）
ハラ ミュージアム アーク（群馬）
富山県美術館（富山）
広島市現代美術館（広島）
川口現代美術館 （埼玉）
大原美術館（岡山）
芦屋市立美術博物館（兵庫）
世田谷美術館（東京）
クイーンズランド・アートギャラリー（ブリスベン、オーストラリア）
高松市美術館（香川）
相生森林美術館（徳島）
町立久万美術館（愛媛）
豊川地域文化広場桜ヶ丘ミュージアム（愛知）
高知県立美術館（高知）
栃木県立美術館（栃木）
アムステルダム市立美術館（オランダ）
井原市立平櫛田中美術館（岡山）
国立国際美術館（大阪）
グライスデール・フォレストミュージアム（イギリス）
宇都宮美術館（栃木）
島根県立美術館（島根）
モン・ド・マルサン市（フランス）
名古屋市 白河公園（愛知）
至学館大学（旧中京女子大学）（愛知）
国際芸術センター青森（青森）
東京大学駒場図書館（東京）

福岡市美術館（福岡）
群馬県立館林美術館（群馬）
碧南市藤井達吉現代美術館（愛知）
シルパカラアカデミー（バングラディシュ）
中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館（北海道）
山中湖美術館（山梨）
ヴァンジ彫刻庭園美術館（静岡）
豊橋市美術博物館（愛知）
大阪中之島美術館（大阪）
大分県立美術館（大分）
宮崎県立美術館（宮崎）